



平成29年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月7日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第3四半期の連結業績(平成28年5月1日~平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第3四半期	6,798	13.6	357	70.9	339	65.1	195	55.6
28年4月期第3四半期	5,982	14.7	209	△18.1	205	△24.3	125	△23.9

(注) 包括利益 29年4月期第3四半期 196百万円(63.0%) 28年4月期第3四半期 120百万円(△26.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第3四半期	32.68	31.35
28年4月期第3四半期	21.00	20.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第3四半期	3,525	1,933	54.1
28年4月期	3,412	1,751	51.2

(参考) 自己資本 29年4月期第3四半期 1,907百万円 28年4月期 1,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	—	—	5.60	5.60
29年4月期	—	—	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成29年4月期の期末配当につきましては、本日「平成29年4月期配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表しております。

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日~平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,705	15.6	532	20.6	520	24.1	349	31.0	58.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名)株式会社BGパートナーズ、除外 1社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年4月期3Q	5,976,000株	28年4月期	5,976,000株
29年4月期3Q	405株	28年4月期	405株
29年4月期3Q	5,975,595株	28年4月期3Q	5,975,215株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策により、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国や欧州を中心とした海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響等により、先行きは不透明な状況にあります。美容業界におきましても、顧客単価の下落、店舗間競争の激化、新卒美容師の減少、小規模サロンの後継者不足などサロン経営において引き続き厳しい環境が続いております。

そのような状況下、当社グループではビューティサロン向け「開業支援」から「開業＋経営支援」へのサービス領域を拡大することを目的として、各種取組を継続的に実施しました。

第3四半期連結累計期間には、美容業界向け各種展示会への出展、通販カタログ3種の発刊（平成28年6月）、福岡支店ショールームのリニューアル移転、web広告の強化等、積極的なプロモーション施策を実施してまいりました。

また、平成28年11月より、これまで外部に委託していた「大型・中型機器」の物流業務を内製化するため、千葉県柏市の自社物流センターを大幅拡張し、材料・化粧品から大型機器までの物流の一元化を図りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,798,736千円（前年同期比13.6%増）、売上総利益は2,285,823千円（前年同期比18.0%増）、営業利益は357,363千円（前年同期比70.9%増）、経常利益339,140千円（前年同期比65.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益195,272千円（前年同期比55.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由売上高は物販事業売上高の6割超を占めており、当社の最も重要な販売経路となっております。特に、スマホ専用ECサイトやスマホ発注アプリ「BGスマート発注」経由による受注が増加しており、モバイル経由全体（スマホECサイト＋スマホアプリ＋携帯ECサイト）の売上高は前年同期比49.8%増と大幅に伸長しております。

当社はリピート商材の拡充による「フロー＆ストック型収益構造」への転換を推し進めており、平成29年1月には、フランスの老舗エステティック化粧品ブランド「ドクタールノー」の独占輸入販売権を獲得するなど、継続的にラインナップの拡大に努めております。

なお、当第3四半期連結累計期間におきましては、特に理美容化粧品やネイル・まつ毛材料の売上が引き続き好調に伸長したことから、化粧品・材料の売上高は前年同期に比べ22.4%増加しました。

この結果、当事業の売上高は5,275,372千円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益は424,903千円（前年同期比53.6%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しており、東京・金沢・福岡・大阪・名古屋の5つの拠点にオフィスを構え当社と連携して事業を展開しております。

デザイナーの増員や店舗設計WEBサイトのリニューアル等、積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓に努めた結果、当事業の売上高は1,333,673千円（前年同期比24.5%増）、セグメント利益は61,988千円（前年同期比24.0%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、採用支援サービス、教育サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

平成29年1月には、資金面からも美容サロンの開業・経営を支援することを目的とし、当社の信用力・資金力・物件情報力を最大限に活用したファイナンスサポート、店舗リース・転貸サービス等を提供する株式会社BGパートナーズを設立いたしました。

当第3四半期会計期間におきましては、居抜き不動産仲介サービス、保険サービスが好調でしたが、採用支援サービスや集客支援サービスがふるわなかったため、当事業の売上高は189,690千円（前年同期比10.8%減）、セグメント利益は28,813千円（前年同期比7.1%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、3,007,976千円となりました。これは、主に商品の増加114,889千円があったものの、現金及び預金の減少205,983千円及び受取手形及び売掛金の減少58,348千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて60.1%増加し、517,877千円となりました。これは、主に無形固定資産の増加137,308千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、1,359,922千円となりました。これは、主に賞与引当金の増加50,559千円、短期借入金の増加34,168千円及び1年以内返済予定の長期借入金の増加26,156千円があったものの、買掛金の減少169,143千円及び未払法人税等の減少16,780千円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、232,503千円となりました。これは、主にポイント引当金の増加5,713千円があったものの、長期借入金の減少20,679千円があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて10.4%増加し、1,933,428千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少33,463千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加195,272千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月9日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、株式会社BGパートナーズを設立したため、同社を連結の範囲に含めております。なお、株式会社BGパートナーズは当社の特定子会社に該当しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,101,060	895,076
受取手形及び売掛金	689,499	631,150
商品	983,771	1,098,660
仕掛品	22,931	73,288
その他	302,416	321,425
貸倒引当金	△10,978	△11,625
流動資産合計	3,088,700	3,007,976
固定資産		
有形固定資産	79,656	113,448
無形固定資産		
ソフトウェア	41,817	39,426
ソフトウェア仮勘定	-	139,700
その他	116	116
無形固定資産合計	41,933	179,242
投資その他の資産	201,887	225,186
固定資産合計	323,478	517,877
資産合計	3,412,179	3,525,854
負債の部		
流動負債		
買掛金	631,913	462,770
短期借入金	7,500	41,668
1年内返済予定の長期借入金	112,136	138,292
未払法人税等	84,784	68,004
賞与引当金	27,920	78,479
製品保証引当金	15,153	11,083
受注損失引当金	1,154	1,179
株主優待引当金	3,046	2,430
資産除去債務	576	21
その他	531,122	555,994
流動負債合計	1,415,307	1,359,922
固定負債		
長期借入金	139,314	118,635
ポイント引当金	44,194	49,907
資産除去債務	23,641	23,763
その他	38,483	40,196
固定負債合計	245,633	232,503
負債合計	1,660,940	1,592,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,745	269,745
資本剰余金	221,012	220,512
利益剰余金	1,255,749	1,417,558
自己株式	△202	△202
株主資本合計	1,746,303	1,907,612
新株予約権	236	236
非支配株主持分	4,698	25,579

純資産合計	1,751,238	1,933,428
負債純資産合計	3,412,179	3,525,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
売上高	5,982,391	6,798,736
売上原価	4,045,538	4,512,913
売上総利益	1,936,853	2,285,823
販売費及び一般管理費	1,727,792	1,928,460
営業利益	209,060	357,363
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	21
受取手数料	3,724	941
その他	2,116	2,272
営業外収益合計	5,916	3,235
営業外費用		
支払利息	901	658
為替差損	6,009	2,548
市場変更費用	-	16,770
その他	2,605	1,481
営業外費用合計	9,516	21,457
経常利益	205,460	339,140
特別利益		
固定資産売却益	184	225
特別利益合計	184	225
特別損失		
投資有価証券評価損	-	31,999
特別損失合計	-	31,999
税金等調整前四半期純利益	205,645	307,366
法人税、住民税及び事業税	95,012	137,348
法人税等調整額	△9,740	△26,135
法人税等合計	85,272	111,212
四半期純利益	120,372	196,153
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,121	881
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,494	195,272

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益	120,372	196,153
四半期包括利益	120,372	196,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,494	195,272
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,121	881

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,698,638	1,071,071	212,680	5,982,391	—	5,982,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,287	20,960	10,084	120,331	△120,331	—
計	4,787,926	1,092,031	222,764	6,102,723	△120,331	5,982,391
セグメント利益	276,590	49,975	31,020	357,586	△148,526	209,060

(注) 1. セグメント利益の調整額△148,526千円には、セグメント間取引消去14,780千円、未実現利益の調整額△679千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,627千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,275,372	1,333,673	189,690	6,798,736	-	6,798,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	155,220	29,832	24,898	209,951	△ 209,951	-
計	5,430,593	1,363,506	214,589	7,008,688	△ 209,951	6,798,736
セグメント利益	424,903	61,988	28,813	515,705	△ 158,342	357,363

(注) 1. セグメント利益の調整額△158,342千円には、セグメント間取引消去16,526千円、未実現利益の調整額413千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,282千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。